

[091_03] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/7329595>

出版情報：法政研究. 91 (3), 2024-12-18. Hosei Gakkai (Institute for Law and Politics) Kyushu University

バージョン：

権利関係：





九州大学教授 七戸克彦 先生

七戸克彦先生は、1959（昭和34）年9月24日に北海道札幌市に生まれ、慶應義塾大学法学部卒業後、同大学大学院法学研究科を経て、1988年に同大学法学部専任講師、1991年に同助教授、2003年に同教授、その後法科大学院創設を機に2004年九州大学大学院法学研究院教授として赴任された。2000年から2002年にはドイツのハーゲン大学において在外研究をされている。学内の各種委員会の委員を務められ、また2005年に弁護士登録（福岡県弁護士会）をされ、九州大学法科大学院の連携法律事務所である弁護士法人九州リーガル・クリニック法律事務所で活躍されているほか、2002年より2024年までの22年間（公社）日本河川協会の理事を務められた。

研究の対象分野は幅広く、民法のほか、不動産登記法、水法であり、物権法・不動産登記法に関する著作も上梓され、特に物権変動に関して多くの実績を挙げられている。また、日本民法典の編纂と民法学説史に関する、幅広い知識に裏打ちされた緻密かつ実証的な研究がよく知られている。学外では早稲田大学プロジェクト研究所招聘研究員、（一財）日本水土総合研究所客員研究員を務められ、所属学会も日本私法学会、日本比較法学会、日仏法学会、日本家族＜社会と法＞学会、日本登記法学会と幅広く、日本登記法学会の初代理事長に就任されたほか、日本私法学会の理事を務められた。

教育活動としては、法学部、法学府、法科大学院（法務学府）において、民法の教育・研究指導を担当されている。法学部の七戸ゼミは、受講生の多くが法科大学院進学希望者と司法試験予備試験受験生であり、卒業生のほぼ全員が法曹になるゼミとして知られ、また他大学との交流も盛んに行われている。

社会連携についても多くの活動に従事されているが、司法書士・土地家屋調査士も参加する日本登記法学会の理事長のほか、法制審議会不動産登記法部会幹事、日本土地家屋調査士会連合会学術顧問、国土交通省四国地方整備局「四国水問題研究会」委員、農林水産省「農業水利問題検討委員会」委員、国土交通省「湯水問題検討会」座長を務められている。

研究・学外の業務により多忙を極める中、九州大学大学院法学研究院の発展にご尽力いただいた七戸先生のご退職にあたり、多年のご功勞に感謝するとともに、先生のより一層のご健勝とご活躍を祈念し、本号を献呈する次第である。